

いわて平泉米だより

令和4年2月号



ASIAGAP 団体認証維持審査実施!



ASIAGAP 審査員による審査風景

ASIAGAPの認証維持審査が1月16日から3日間の日程で、JA西部営農振興センターの他、生産者の施設で行われました。

4年目の今回は、永島幸一さん（一関）、鈴木信夫さん（平泉）、株式会社KOIWAさん（花泉）、佐々木正樹さん（平泉）、小野寺俊行さん（一関）の農場が審査対象となりました。

更新審査は、登録農場・団体が継続して認証の基準を満たす運営ができているかを評価するもので、16日は事務局審査、17、18日は農場審査が行われました。

審査対象農場での現地確認では農薬保管庫の管理状況や調製施設の整理状況、掲示物の標記等の確認が行われ団体マニュアルの取り組み内容について審査を受けました。

○GAP (Good Agricultural Practice) とは

日本語に直訳すると“良い農業のやり方”となります。

食品安全、環境保全、労働安全、人権・福祉、農場運営上の事故の予防をする手段として、農業の持続性に向けた取り組みを行うためのツールとして活用するものです。